

天守閣がもどって来た日、  
熊本の町は、「おかえり！」の声で  
あふれました。

この春、熊本城の天守閣が帰ってきま  
した。震災から5年、その道のりはとて  
も長く、とても厳しいものでした。だか  
らこそ、天守閣がもどって来た日のよ  
ろこびは、格別。熊本はもちろん、日本全  
国からお祝いの言葉が届けられました。

熊本出身の女優、宮崎美子さんは、「よう  
帰ってきなっ」と満面の笑顔で言  
います。歌手の石川さゆりさんは、「毎年  
祖母や母と一緒に花見に行っていた熊  
本城は、私の故郷そのものです」と言  
います。俳優の高良健吾さんは、「子ども  
頃から当たりまえのように、ここにい  
てくれた熊本城の天守閣が復旧して、こ  
れ以上うれしいことはありません」と、目を  
輝かせながら言います。

振り返れば、熊本城はいつも、ここに暮ら  
す人に大きな安心と希望を与えてくれ  
ました。ここを旅する人には、美しい自然  
や賑わいのある城下町とともに、温かい  
心で、もてなしてくれました。そして今、  
私たちは誓います。築城からこれまでの  
400年とおなじように、これからの  
100年も、城とともに生きていくこ  
とを。城のすべてが元の姿に復旧する  
その日に向かって。

今、私たちは、目に見えない敵と戦って  
います。日々、不安の中に過ごしています。  
でも、大丈夫。この町では、暮らす人も、  
旅する人も、みんな上を向いています。  
見上げる先には、何度も苦難の壁を  
乗り越えてきた天守閣が、強く優しく  
微笑んでいます。「どんな困難なことも、  
みんな心をついにすれば、必ず乗り  
越えていけるよ」と。

500年、  
城と生きる町へ。  
くまもと

ただいま！

